

QuickSmarts

歩行者の安全



道路のそばや近くを歩く際には、安全の為に特別な注意が必要です

私たちはいつでも歩行者になることがあります、歩行者というのは、特に怪我をしやすいものです。車に乗っている人とは異なり、私たちはシートベルト、エアバッグ、金属によって保護されていません。

歩行者としては、交通状況や周囲の状況に注意し、ドライバーやライダーがあなたが見えているはずだとは決して思わないことが重要です。

安全に歩くには

- 道路、線路、トラムなどを横切の場合は、必ず横断歩道・信号・歩行者用の安全地帯 等を利用するようにしましょう。
- もしも20m以内に横断用の施設がない場合は最も短くて安全なルートで渡りましょう。
- 線路の遮断機がある場合は、遮断機が完全に上がり信号機の点滅と音が止まるまで渡らずに待ちましょう。一次の電車が来る可能性があります。
- 常に注意を払って：ヘッドホンや携帯電話の使用は、周りで起こっていることに注意が散漫になります。
- もしもお酒を飲んだ場合、歩道を歩き、道路の横断には横断歩道を利用しましょう
- 常に歩道や歩道と車道との芝地を歩くようにしましょう。
- もしも、歩道がない場合は、車が向かって来る方向に歩きましょう。
- トラムや電車の線路は絶対に歩いてはいけません。
- 暗い道を歩く場合、懐中電灯を使い、足元を照らしましょう。
- 道の曲がり角や丘の頂上などは特に注意が必要です。もしも車が近づいてきたら、よける場所を確保しましょう。
- 決して運転者が自分を確認できていると思込まないようにしましょう。

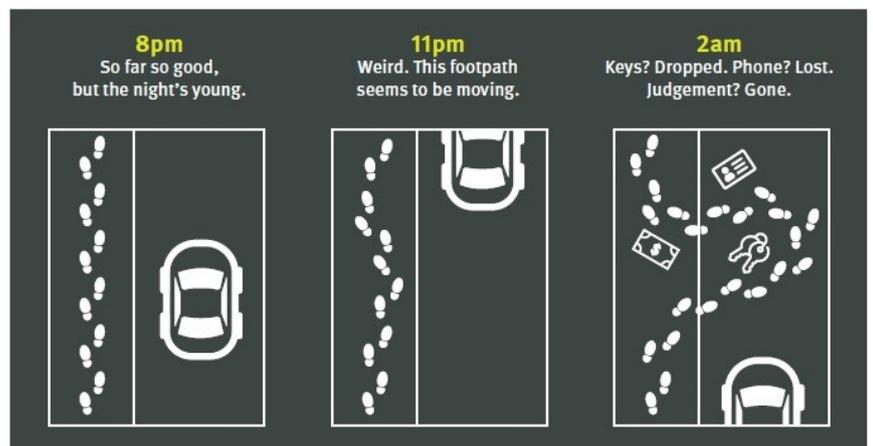
飲酒後の徒歩での帰宅

酔っぱらって家に歩いて帰るとしましょう。

ちょっと待ってください。道で歩行者が事故で死亡する場合の30%は飲酒後で、血中アルコール濃度0.05での事故です。

出来れば、違う方法で帰宅しましょう。

(ただし、自転車はだめです。)



子供

ウォーキングにより、子供たちは健康的な運動習慣、自立心、共同体意識を養うことができます。安全な歩行者になるには、次のことを試してください。

- 自身が安全な行動の見本になること。小さな子供とは手をつなぎ、道路の近くを歩いているときに携帯電話を使用したり、危険なショートカットをしたり、車が来ていなくても赤信号で渡ったりしないでください。

- 歩きながらの行動や決断について子供に話し、質問をしましょう。

-ここは安全に横断できる場所ですか？

-横断歩道など、横断するのに適した場所がありますか？

-ドライバーから見えると思いますか？

-歩くのに最適な場所はどこですか？

-家に帰るにはどの道を行けばいいですか？

- 子どもたちが、自分の地域について学べるよう一緒に探索し、子供たちにさまざまな状況を経験させる。

- 子供達が、交通事故を避ける感覚を身につけ始めたら、少しずつ歩行者としての責任を増やしていく。例えば、子供達に道を案内してもらいます、あなたが今まで行ったことのない場所やルートを教えてくれるかもしれません

- 子供が大きくなったり、より自立したら、友達と一緒に歩くように子供たちを促しましょう。

- 子どもたちが安全でないと感じた場合に、通学路沿いに住んでいる人や行くことができる場所を子供たちに教えておきます。

詳細は、Neighbourhood Watch,

www.police.qld.gov.au/programs/nhwq, or the Queensland Police Service www.police.qld.gov.au.

「歩行者の為のルール」

クイーンズランド州Dept. Transport Main Roads では、歩行者とクイーンズランド州を歩くためのさまざまな情報を提供します。詳細については、www.qld.gov.au/transportをご覧ください。

ドライバーとライダーの為のヒント

クイーンズランド州で車を運転、またはバイクに乗っている時には、次のことを行う必要があります。

- 歩行者が横断歩道上にいる場合や、子供や歩行者が横断歩道を渡ろうとしている時は、必ず道を譲る

- 進入した道路上の歩行者へ道を譲る

- 共有ゾーンまたは左折専用道路の歩行者に道を譲る

- 必要に応じて交差点で安全に停止できる速度で運転する

- 子供がいる場所、学校や公園などの遊び場、などは注意深く走行する

- 障害のある人、または高齢者の歩行者が道路を横断する場合は時間を十分にとる

- 交差点の近くで、別の車またはバイクが停車または速度を落とした場合には、停まる準備をする

- 人々が集まる夜間の歓楽街の周りでは速度を落とします。